



《盛会だった花見会 報告》

～会長の講演に拍手～

日時：4月11日（土）午後2：30～
会場：長町武家屋敷散策、吾亦紅（金沢市香林坊）
金沢龍馬會4月の花見会は金沢市香林坊の「吾亦紅（われもこう）」にて開催。青春の地湧きたぎる23名の男女会員が参加、大いに飲み語り楽しいひと時を過ごしました。

参加者

宮島/室岡/東/小屋/中川/蛭子/宇賀/中田/佐藤/守山/大坪/吉田/油谷/勝田/中城/寺元/松岡/山崎/朝日/周藤/北川/西/小幡の各位でした。

始めは、午後2時30分ころから、吉田事務局長のご案内で明るい春の日差しのもと長町の武家屋敷跡を散策しました。

知っているつもりでしたが改めてボランティアガイドとして吉田さんから丁寧なご説明を受けて参加者はすこぶる感銘、良い企画だったなあと言いつつ合意の次第です。

このあと吾亦紅（われもこう）に戻っての講演に移りました。

中川会長は病気加療中とは全く見えず元気滂刺、中身の濃い講演をしていただきました。

演題は「龍馬から見た日本人論、その平和と戦争、インテリジェンス」でした。

会員の多くはその内容に頷いた方が多かったようでした。

その後懇親会を行いました。皆活発に議論を交わしました。いろいろと質問意見が飛び交い、更に盛り上がり各会員とグラスを交わし、日頃の活動の話などに話の花を咲かせました。

楽しいひと時はあっという間に時は過ぎ最後は金沢龍馬會のこれからの発展を祈って蛭子副会長の中締めとして連帯の意味を込めて三三七拍子で楽しい宴は無事に終了しました。



《北陸三県交流会》

日時：9月27日（土） 14：45～19：00
場所：兼見御亭（けんけんおちん）
金沢市東兼六町2-37（076-222-1600）
エクスカージョン：14：45～16：00
金沢城跡 散策
講演：16：00～17：00
三吉治敬（みよし・はるたか）氏
箏演奏：麻井紅仁子さん
懇親会日時：17：00～19：00
懇親会費用：¥7,000円

金沢龍馬會公式ホームページ開設!!

現在下記のドメイン名を取得し8月上旬をめどに開設するべく準備中ですので皆様ご期待下さい。

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

【会員のつばやき】 “私と金沢と龍馬會”



中城嶽彦

南国土佐を後にして～の歌ではないですが、金沢に来てはや4年、以前は龍馬の生家より西に2丁程の高知市上町に住んでいました。

近くには、龍馬も小さい頃泳いだ又私も泳いだ鏡川、日野根道場跡もありました。

高知に居た頃は幕末の志士龍馬は観光の目玉位で、これといつて特に何も知る事はしない程度でした。金沢に移り住み、ひょんな事から金沢龍馬會を知り、懐かしさも有り入会してみると会員の方の龍馬に対する知識、思い入れに大変驚きました。私は高知それも同じ町内に住んでいてこの程度の知識しか持ち合わせていない事に少し恥ずかしさを覚えました。

改めて龍馬と云う人物に向き合う事が出来たのも金沢龍馬會のお陰又北陸三県の会員のおかげだと感謝しております。

人生最後の地に金沢を選んだのも何かの縁、金沢龍馬會を通じ今後多くの方と出会いもっと知識を広げ、酒を酌み交わし有意義な時間を過ごせたらと思っています。

まるわかり「龍馬入門講座」④

これは2010年NHKテレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し若干編集しました。（本掲載は金沢龍馬会内部のみです）



⑪自分らしくあるために「藩」という集団から抜け出して自由となり、夢を探しに出たというところでしょか。

須崎、梶原で那須兄弟、肱川（ひじがわ）を下り、大洲を通り、長浜から船に乗り長州三田尻に着きました。

⑫1862年10月千葉定吉の子、重太郎と共に幕府政治総裁職に就任した前福井藩主：松平春嶽に拝謁し紹介状を書いて貰い勝海舟を訪ねます。

そこで人生を変える勝との出会いが待っていました。「真の攘夷は黒船と戦っても負けない海軍力を充実させることである」と熱弁をふるう勝を「日本第一の人物」「天下無二の軍学者」と讃え勝海舟の門人となります。

ここで龍馬は自分の方向性をしっかりとしたものになります。海舟の神戸海軍操練所の開設に尽力します。操練所よりも先に開設された勝の私塾・神戸海軍塾の塾頭を務めます。

勝のとりなしで脱藩の罪を許されます。勝は、土佐の殿様の山内容堂から、土佐藩の海軍訓練を依頼されていたのです。勝海舟に依頼され福井へ赴き松平春嶽と面談し1千両とも5千両（11億円）ともいわれる金を借用します。

⑬1863. 6. 29付 姉乙女に宛ての手紙

有名な「**にっぽんを いまいちど
せんたくいたし もうしそろう**」

龍馬がこの手紙を書いたのは幕府が神戸海軍操練所の設置を決めた直後で、勝海舟の右腕となり海運及び海軍に関することを学び始めた頃です。

龍馬曰く「誠に嘆かわしいことですが長州で外国との戦争がおこり（馬関戦争）先月から6回戦いました。日本は勝ち目がなく、あきれた事には、長州で戦った外国の船を江戸で修理してやりまた長州に向かわせ戦っております。

これらのことはみな、悪い幕府の役人が、外国人とこっそり取引しているものです。

こうした悪い役人は、よほど勢いもあり大勢いますが、龍馬は二、三の大名としっかり約束し、同志を集め、朝廷もまずこの神の国を滅ぼさぬ大方針を建て、そして江戸の同志である旗本、大名と心を合わせ、今言った悪い役人を一度に戦って撃ち殺し、この日本を今一度洗濯しようと言うことを神様にお願いしたい気持ちです。」

「続く」（記：吉田信夫）

●年会費納入のお願い

**27年4月から来年3月迄の年会費：
¥3,000**

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

【新入会員】

91 小幡 謙二さん

【編集後記】

花見会も盛況のうちに終わり6月は「総会」です。会報も第4号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。これからも皆さまのご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。

***** 事務局 *****

金沢龍馬会

会 長：中川可能作

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.yomakai?sk=wall&filter=2>

